

令和3年度 教育課程編成委員会 記録

委員：小川英彦(至学館大学教授 有識者委員)、
高田道雄(マハヤナ幼稚園長 保育科第二部企業等委員)、
水越省三(愛知県私立幼稚園連盟理事 業界団体委員)、
木下眞吾(名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園長、滝子幼稚園長)
武石協子(社会福祉法人NUA前たきこ幼児園長 保育科企業等委員)
杉浦宏幸(校長)、坂部良二(副校長)、加藤由美(保育科長・教学主任)

開催形態

令和3年度教育課程編成委員会については、当初6月11日(金)に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、各委員に資料を送付し、意見を伺うという形態に変更して実施した。

送付資料

- ①令和3年度 名古屋芸術大学保育専門学校のめざす教育、等
- ②令和3年度 学生数状況
- ③令和2年度 就職状況
- ④教育課程 (別添学生便覧・講義要綱冊子)
- ⑤令和3年度 前期・後期時間割表
- ⑥令和3年度 年間行事計画
- ⑦令和3年度 教育・保育実習についての取組、実習期間
- ⑧令和2年度 教育実習Ⅱにおける校内授業への振替について
- ⑨令和2年度 「保育・教職実践演習」小論文テーマ一覧
- ⑩令和2年度 後期・通年科目の成績一覧
- ⑪自己評価、学校関係者評価について
- ⑫その他
・名古屋芸術大学保育専門学校 閉校までの取組について

1 校長あいさつ

紙面上にて、校長から外部委員への挨拶を行った。また、その中で、経営方針として、学生支援の重点として5項目及び重点努力目標としての5項目にしっかり取り組んでいくことや、隣接している滝子幼稚園、たきこ幼児園との連携を深め、両園でのプレ実習や園の先生による授業等を通して、即戦力となる幼稚園教諭・保育士の養成に努めていく旨の説明があった。また、コロナ禍ではあるが、感染予防対策に力を入れながら対面授業を実施していくことや、実習前には全生徒にPCR検査を実施する予定であることの報告があった。

2 外部委員からの意見

- ・新型コロナウイルス感染症の感染が広がっている中で、教育・保育実習を計画通り実施するために様々な対応をしていると思う。学生の意識を高めていただき、安全に教育・保育実習ができるように指導、支援をしていただきたい。
- ・令和2年度の卒業生で、就職を希望している者が全て就職できたことは、就職に関する支援もしっかりできていたことの証である。最後卒業生もしっかり取り組んでいただきたい。
- ・閉校に関わる取組を計画的に進めていることがよく分かった。来年度以後、卒業生の皆さんが困らぬよう、卒業証明書の取得などの手続きの行い方等、確実に示しておいて欲しい。
- ・閉校は残念ですが、これまで先生方や職員の皆さまの日々のたいへんさがあったことと思う。長い貴校の教育、本当にご苦労様。